



越谷市議会議員

福田あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』 2018年春号 No. **28**

〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120

TEL/FAX 048-978-3335

Mali info@akira-fukuda.com HP http://akira-fukuda.com



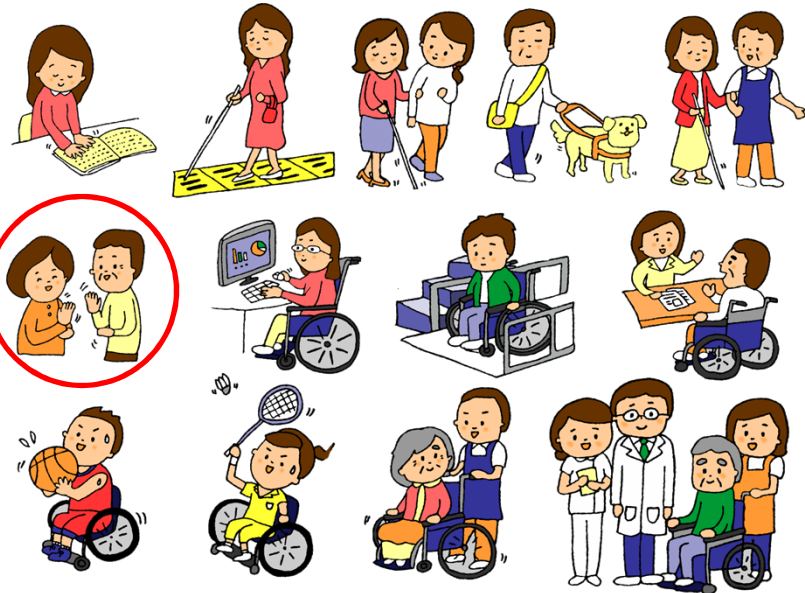
※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、最小限の費用にて作成しています。(IT企業出身である強みを活かしています)

だれもが住みやすいまち越谷市に一步前進!

3月定例議会 一般議案より

越谷市手話言語条例が制定

本条例は、「手話についての基本理念を定め、市の責務及び市民の役割を明らかにするとともに、手話に関する施策を推進することにより、社会的な障壁によって分け隔てられることなく、全ての市民がともに生きることのできる地域社会の実現に寄与すること」を目的に制定するものです。まずは手話言語に対する条例制定となりましたが今後は、視力が弱い方々など全ての方々が困ることなくコミュニケーションをとれる社会に近づける必要があります。そして私自身、様々な障がいをもった方が分け隔てなく生活できるバリアフリー化にむけた取り組みを積極的に行っていきたいと思えます。



提案した政策が実現へ!

越谷市消防団 機能別団員を設置 (特定の消防業務に従事する団員)

越谷市の消防団に機能別団員を設置することになりました。この機能別団員とは、わかりやすく言えば「学生消防団員」です。基本的には市内にある文教大学と埼玉県立大学の学生に団員になってもらうことを想定しています。この取組は、消防団員の高齢化が進むなか若い世代に参加してもらうことで今後の活性化につながることを期待するものです。本来消防団に求められている火災における消火活動ではなく、防災における啓蒙活動や避難所運営の手伝い等の役割を担ってもらう予定です。尚、私は2014年3月の予算特別委員会で学生消防団設立の提案をさせて頂きましたが、その提案が実現いたしました。



会派行政調査より



更に詳しく! ブログをチェック

2018年2月5日~7日にかけて会派で行政調査を実施しました。調査の詳細レポートはブログをぜひご確認ください。

1. 奈良県事業(2月5日)
災害時における外国人専用福祉避難所開設に関する協定締結について
2. 京都府京都市(2月6日)
京都市福祉ボランティアセンターについて
3. 静岡県藤枝市(2月7日)
食品メーカーカゴメとの健康や食育施策などに関する包括連携協定について(健康寿命施策)



(行政調査の様子です)

この度は藤枝市で学んできたことを記載します。藤枝市では市民が、幸せな健康生活を少しでも長く続けられるまちをめざし、市民・事業者・行政が一体となって下記のような活動を推進しています。

◆守る健康(命を守る)

重点取り組み

- ・発症予防
- ・重症化予防
- ・地域保健・医療

<市民の健康関心度が高い>

- ⇒特定健康診査受診率が高い
- ⇒がん検診受診率も高い

<地域から1,000人の保健委員を選出>

- ⇒市内12支部、計1000人体制で活動
- ⇒自治会長、町内会長はあて職
- ⇒女性保健委員は60~80世帯に一人

◆創る健康

<健康・予防日本一プロジェクト>

- プロジェクト1 歩いて健康「日本全国バーチャルの旅」
⇒継続したウォーキングを支援
- プロジェクト2 ふじえだ健康スポット20選
⇒地域の宝を健康づくりに活用
- プロジェクト3 ふじえだ健康マイレージ
⇒日々の健康行動の実践と定着

世代に応じたアプローチとツールにより「個人で楽しむ健康」「みんなで楽しむ健康」を実行

福田あきら(42歳)プロフィール

【所属会派】立憲民主党と無所属の会 【常任委員会】教育環境・経済常任委員会 【その他】越谷・松伏水道企業団議員

1975年越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
 1982年清浄院幼稚園卒園
 1988年越谷市立桜井南小学校卒業
 1991年越谷市立越谷北中学校卒業
 1994年埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
 1998年法政大学法学部法律学科卒業
 2000年現:伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
 ⇒IT企業のサラリーマンとして10年勤務
 2011年越谷市議会選挙初当選
 2015年2期目当選

- 資格 防災士/情報セキュリティマネジメント /宅地建物取引士/終活カウンセラーなど
- 家族 妻と長男、次男、チワワ2匹
- サッカー選手としての経歴
- ・越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)
- ・水戸ホーリーホック【現Jリーグ2部】
- ・国民体育大会(国体)サッカーや全国社会人サッカー選手権優勝など三度の日本一を経験
- ・越谷市サッカー協会副会長
- ・越谷市スポーツ少年団理事長



日々情報発信中

公式ホームページ
越谷市議会議員
福田あきら



ブログ
福田あきらの
政治家日記



★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00~18:00大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方へのみの対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。

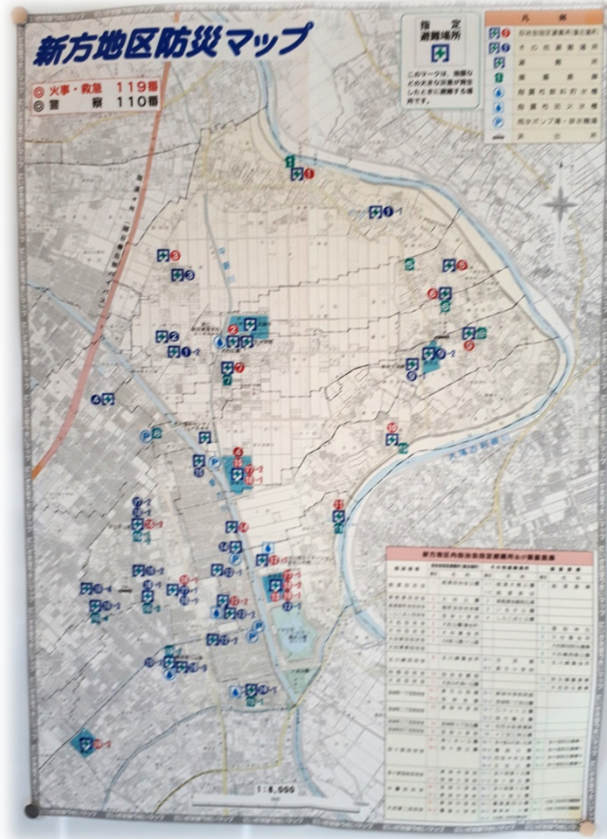
3月定例議会 予算特別委員会より

3月2日～7日(土日を除く)の5日間、予算特別委員会が開催されました。私は副委員長を拝命し、委員長を支えるとともに予算特別委員会の円滑な進行、そして慎重審議が行われるように努めました。尚、私の主な質問について記載させていただきます。

地区防災マップ作成について

【福田質問】地区防災マップの作成についての具体的な内容は？13地区単位での防災マップ作成の他、自治体単位で実行することにも大きな意味があると考えますが執行部の考えは？

【執行部答弁】防災マップ作成は地区まちづくり助成金を活用し、各地区のコミュニティ推進協議会を中心として13地区を2カ年にわけて実施する。この防災マップは地域住民が自ら作成し、地域の防災状況をプロットした(描画した)地図である。地域にどれくらいの防災力(避難所、自主防災組織、防災倉庫等)があるかを把握することが可能となる。また共助の精神を育むことも可能となると考える。そして自治会単位での防災マップ作成は、震災であれば避難経路等を自ら調査し共有することが可能であるし、水害であれば道路冠水の場所の調査、共有につながり、大変意味のあるものだと考える。自治会単位の防災マップ作りは出張講座などを通じて、取り組みを支援していきたい。



(以前に作成された地区防災マップ: 新方地区)

3月定例議会 予算特別委員会より(続き)

ひきこりの方の高齢化・長期化への対応

【福田質問】ひきこりの方に高齢化・長期化の傾向があり、多くの課題がある。市としての取組は？

【執行部答弁】国の調査から推定すると越谷市には15歳～39歳までのひきこりの方の人数は1500人弱と考える。14歳以下、40歳以上の方も含めると更に増えると推測される。またひきこりになってしまった本人の高齢化と同時に親の高齢化も大きな課題としてあげられている。本市の保健所、精神保健支援室では「ご家族の集い」「本人の居場所(集い)」を開催したり、保護者の方のニーズにこたえるため、親亡き後の金銭面に対する講演などを実施している。

【その他質問】

- ・がん検診の対象年齢の考え方及び中学生からのピロリ菌検査の実施について
- ・救急指令室および救急車での多言語対応(外国人対応)について
- ・水害対策 応急ポンプ設置の取組について

平成30年度予算規模

・一般会計	915億円 (前年度比 1.2%増)
・特別会計(9会計)	652億3200万円 (前年度比 9.4%減)
・病院事業会計	117億5000万円 (前年度比 0.3%減)
総額	1684億8200万円 (前年度比 3.3%減)

3月定例議会 請願より

請願「日本国憲法第九条の改正の発議については、慎重に取り扱うよう国会に意見書の提出を求める件」

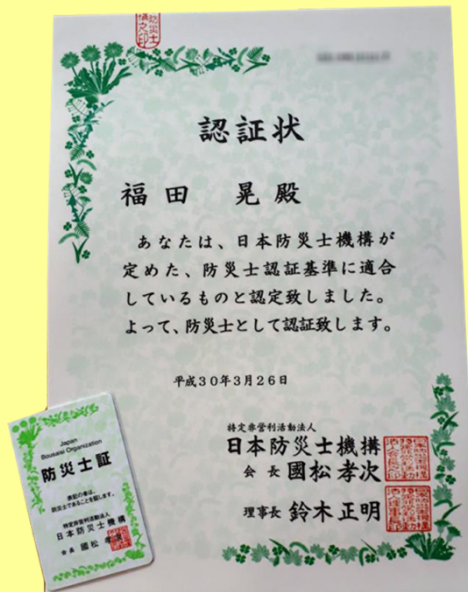
本請願の主旨は、「憲法9条の改正は国民の意見が分かれており期限を定めず、十分に議論してほしい」というものです。私が請願提出時点で感じていた主な疑問だけでも下記のようなことがあります。

- ・安保法制(集団的自衛権)の在り方自体に疑問をもつ人が多い中での9条改正の意味
- ・そもそも合憲であるという認識が高い自衛隊を憲法に明記することの意味
- ・自衛隊を記載した場合の法的な位置づけ
- ・「自衛隊」/「自衛権」言葉の違いの意味
- ・国民投票の事前活動の在り方(平等性と宣伝費用)
- ・国民投票で否定されることの意味

また、自衛隊を警察と同じ権限として捉える考え方や現在の政府解釈(限定的集団自衛権)をそのまま国民投票にかけてみる。(否定されれば個別的自衛権だけの従来解釈に戻す)などの考え方もあります。憲法は勉強すればするほど難しく、より多くの議論を通じ国民に周知し理解を得て、改正が必要であるという雰囲気を作り出していくことがとても重要だと思います。そして立憲主義に基づけば、国民の一定の理解のなかで合意が得られることが重要なのは、言うまでもありません。上記理由等により私は賛成の立場で紹介議員になりましたが請願は少数で否決されました。

防災士の資格を活かして

平成30年3月に防災士の資格を取得しました。この度の予算特別委員会では、防災士の講習や試験勉強で学んだ知識を活かし、災害対策、防災分野での質問を実施させていただきました。今後とも災害対策に力をいれて取り組んで行きたいと思っております。



緊急輸送道路閉塞建築物改修促進事業について

【福田質問】緊急輸送道路閉塞建築物の対象数は？また連絡がとれない家主はいるのか？

【執行部答弁】対象は11棟(病院1棟、共同住宅3棟、事務所6棟、倉庫1棟)で連絡がとれない家主はいない。

※緊急輸送道路は、災害時等に救急救命や消火活動、物資の輸送等で大変重要な道路となり、地震時の建物倒壊による道路閉鎖を防ぐことは、地域住民の生命と財産を守るうえで極めて重要となります。このため、一定条件下にある沿道建築物について、耐震診断の補助を実施しています。



越谷市新庁舎の形が見えてきた！



平成25年4月に市長の附属機関として設置した

- ①越谷市本庁舎整備審議会、からはじまり
- ②本庁舎整備基本構想策定
- ③本庁舎建設基本計画策定
- ④「新庁舎建設基本設計」市民ワークショップの実施
- ⑤新庁舎建設基本設計(素案)の市民説明会の実施
- ⑥新庁舎建設基本設計(素案)に対する意見公募を経て越谷市新庁舎建設基本設計が作成されました。これにより新庁舎の形が見えてきました。

